

2 裾野市の取り組みについて

問 14 市では次のような取り組みを行っています。それぞれの項目について、あなたはどの程度満足していますか？また、その取り組みは重要であると思いますか？ 対象数 = 1,252

問 14 では、「第 3 次裾野市総合計画後期計画」に定められた次の施策について、市民の満足度と重要度を尋ねています。（下表は、各施策と設問項目の対応を示します。）

1 みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）

施 策		設 問 項 目	
1-1-1	健康づくりの推進	1	心身ともに健康で充実した生活を送る
1-1-2	保健・医療・福祉の連携	2	必要な時に適切な医療が受けられる
1-1-3	市民スポーツ・レクリエーションの推進	3	スポーツを習慣にした生活を送る
1-2-1	高齢者が生き生きできる福祉の推進	4	高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
1-2-2	ハンディキャップを克服できる福祉の推進	5	障害のある人の社会参加と自立
1-2-3	自立のできる生活の充実	6	地域住民が共に支えあって暮らす
1-2-4	ボランティアで支える地域福祉の推進		
1-2-5	子育て環境の充実	7	安心して子育てと就労が両立できる
1-3-1	人間性豊かな子どもを育てる教育の充実	8	人間性豊かな子どもを育てる教育
1-4-1	自ら学ぶ環境の充実	9	生涯学習や文化活動の機会や場所
1-5-1	富士山を象徴とする文化の育成		
1-4-2	次世代を担う青少年の育成	10	次世代を担う健全な青少年を育てる
1-6-1	コミュニティ活動の充実	11	地域コミュニティ活動の活発化

2 人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）

施 策		設 問 項 目	
2-1-1	美しいまち景観の創出	12	恵まれた自然景観の活用
2-1-2	きれいな環境の維持・創出	13	ごみ不法投棄や公害への対策
2-1-3	リサイクルの推進	14	リサイクル活動
2-2-1	緑豊かな環境の充実	15	身近な緑の環境
2-2-2	公園・広場の充実		
2-3-1	水に親しむ空間の充実	16	きれいな川を守り、水に親しむ
2-3-2	山や川の災害を防ぐ	17	山や川の災害を防ぐ
2-4-1	安全な水の確保と水資源の有効活用	18	上・下水道事業
2-4-2	きれいな水の流れる環境の創出		
2-5-1	裾野駅周辺の市街地整備の推進	19	裾野の顔となる拠点市街地の整備
2-5-2	周辺部の拠点整備の推進		

2-6-1	住みよい住環境の充実	20	誰もが住みやすい住環境の整備
2-6-2	バランスのとれた土地利用配置	21	適切な土地利用がされている
2-7-1	便利で快適な道路網の充実	22	道路網の便利さ、快適さ
2-7-2	生活に便利な交通機関の充実	23	鉄道・バスの便利さ
2-8-1	地震災害対策の充実	24	地震災害対策
2-8-2	消防・救急体制の強化	25	消防・救急体制
2-8-3	犯罪からまちを守る対策の充実	26	犯罪からまちを守る
2-8-4	安全な交通環境の充実	27	交通安全対策
2-8-5	安全で豊かな消費生活の確保	28	安全で豊かな消費生活

3 新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

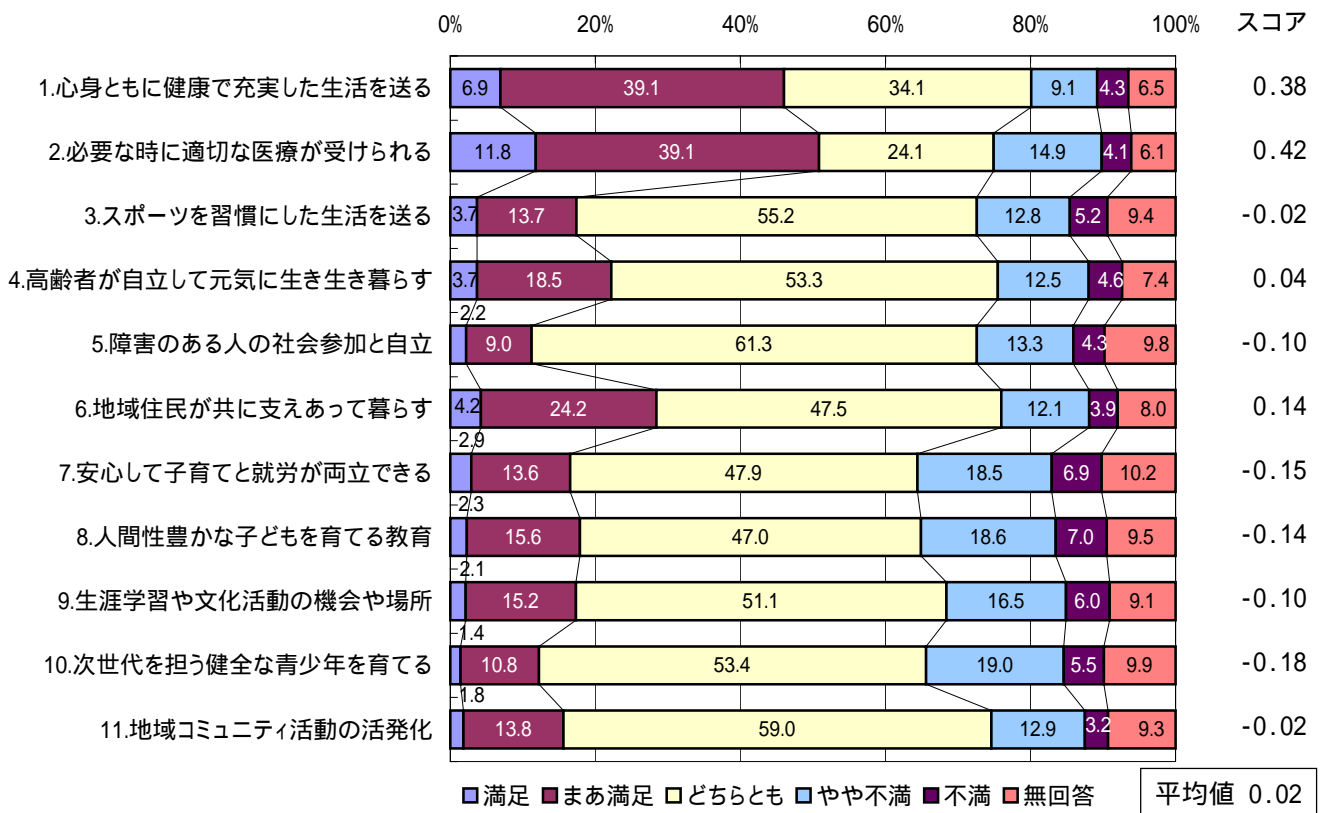
施 策		設 問 項 目	
3-1-1	農業維持の体制づくり	29	農林業の活性化
3-1-2	林業の振興の充実		
3-2-1	緑豊かな工業地の確保	30	先進企業を核とした地場産業の活性化
3-2-2	先進企業の誘致と地場産業の育成		
3-3-1	にぎわいのある商業地の整備	31	にぎわいのある商業地づくり
3-3-2	創意と工夫による商業の振興		
3-4-1	新たな観光の創出	32	新たな観光地づくり
3-4-2	観光による地域の活性化		
3-5-1	裾野の魅力のPR	33	裾野市の全国に向けたアピール
3-5-2	時代に対応した情報の発信	34	時代に対応した情報の発信

4 頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

施 策		設 問 項 目	
4-1-1	市民との協働を目指した市民参加の推進	35	市民と行政の協働によるまちづくり
4-1-2	男女共同参画社会の推進	36	男女共同参画社会
4-1-3	透明性の高い行政運営の実現	37	市民のための行政サービス
4-1-4	開かれた議会活動の支援		
4-2-1	有効で効率的な行政運営確立		
4-2-3	活力ある組織人事の推進		
4-2-4	広域行政における連携の強化		
4-2-2	健全な財政運営の確保	38	健全な財政運営

満足度

1 みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）対象数 = 1,252

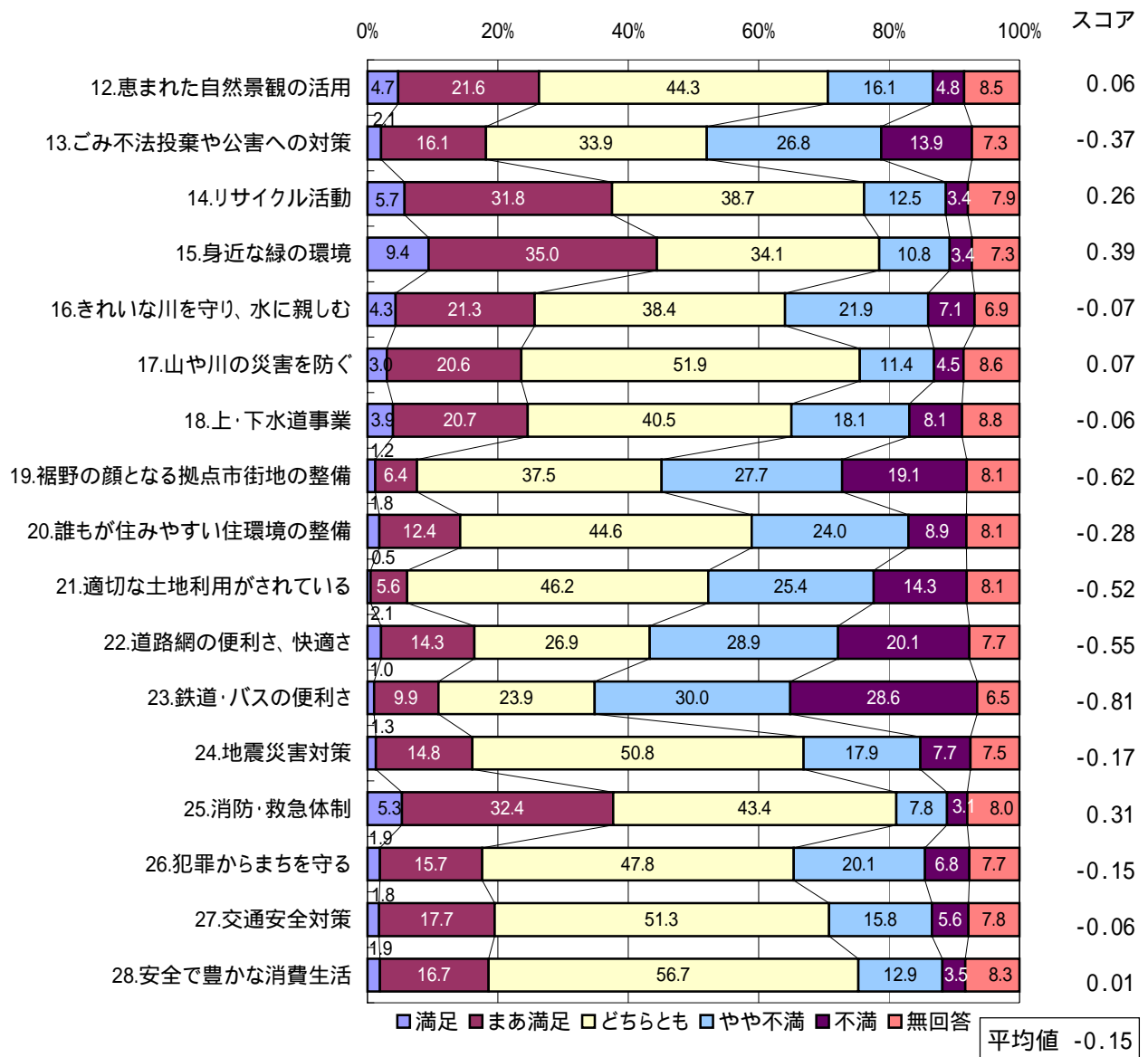


スコア：「満足」=2、「まあ満足」=1、「どちらとも」=0、「やや不満」=-1、「不満」=-2 とし、
 回答人数に掛け、回答総数（無回答数を除く）で除したもの。

健康・福祉・教育分野では、満足度の高い施策として、「2.必要な時に適切な医療が受けられる」50.9%（満足+まあ満足）「1.心身ともに健康で充実した生活を送る」46.0%といった市民の健康づくりに関する施策があげられています。この傾向は前回調査でも同じですが、今回調査の方が15~20%高くなっています。

一方、満足度の低い施策としては、「8.人間性豊かな子どもを育てる教育」25.6%（やや不満+不満）「7.安心して子育てと就労が両立できる」25.4%、「10.次世代を担う健全な青少年を育てる」24.5%といった子育て環境や教育に関する施策があげられています。

分野全体の平均スコアは0.02であり、満足が不満をわずかに上回っています。



自然・環境分野では、満足度の高い施策として、「15.身近な緑の環境」44.4%（満足+まあ満足）、「14.リサイクル活動」37.5%があげられています。一方、「13.ゴミ不法投棄や公害への対策」は、やや不満+不満が40.7%と満足度が低くなっています。

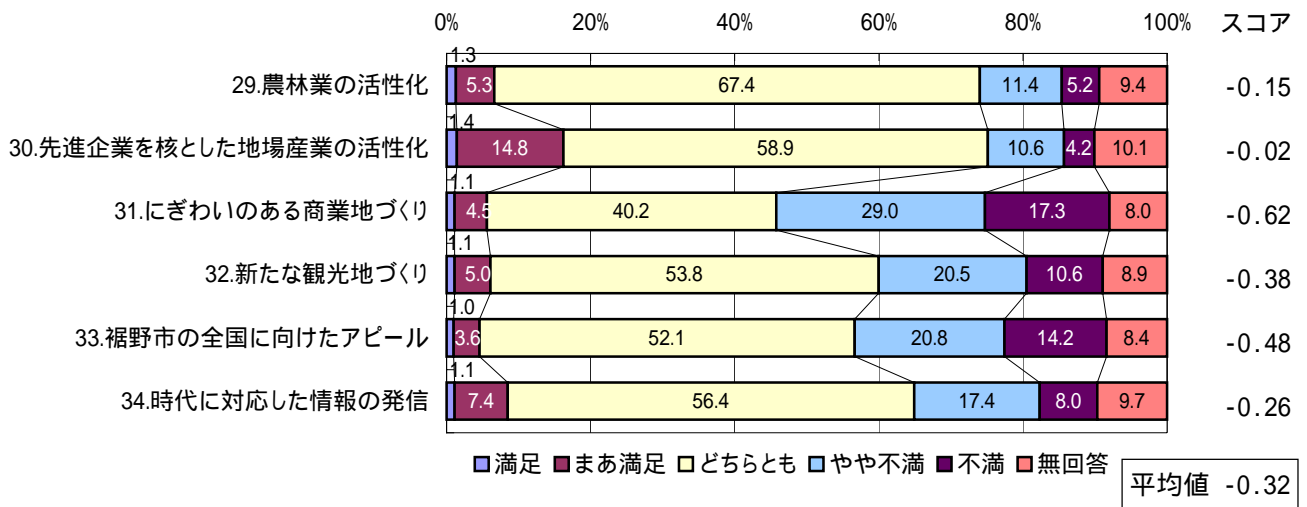
都市基盤分野では、全体的に満足度が低く、特に道路交通施策は、「23.鉄道・バスの便利さ」58.6%（やや不満+不満）、「22.道路網の便利さ、快適さ」49.0%と低くなっています。その他「19.裾野の顔となる拠点市街地の整備」46.8%、「21.適切な土地利用がされている」39.7%についても、不満が満足を大きく上回っています。

市民の安全分野では、「25.消防・救急体制」の満足度が37.7%（満足+まあ満足）と高くなっていますが、その他の施策の満足度は16～19%にとどまっています。

分野全体の平均スコアは-0.15であり、不満が満足を上回っています。

3 新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

対象数 = 1,252

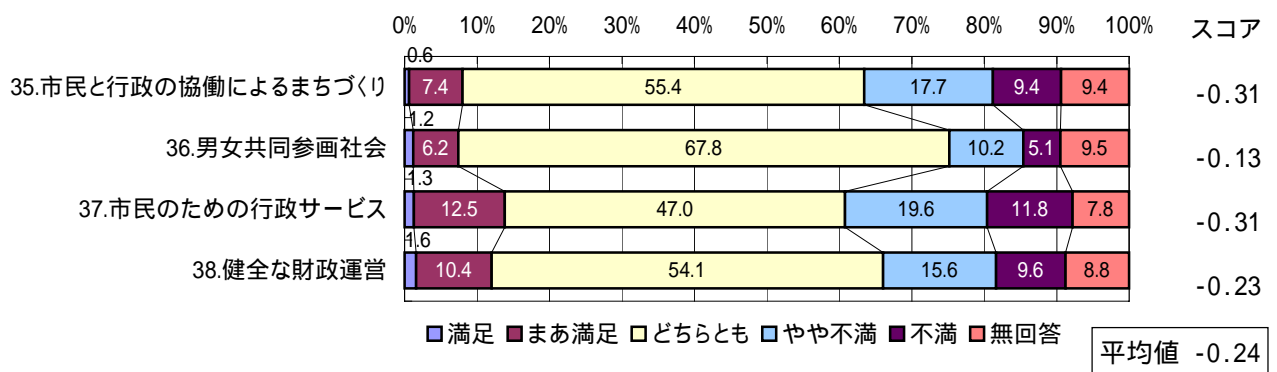


地域産業分野では、いずれの施策も満足度は低い傾向にあり、「31.にぎわいのある商業地づくり」46.3%（やや不満+不満）、「33.裾野市の全国に向けたアピール」35.0%、「32.新たな観光地づくり」31.1%、「34.時代に対応した情報の発信」25.4%となっています。

分野全体の平均スコアは-0.32であり、不満が満足を上回っています。

4 頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

対象数 = 1,252

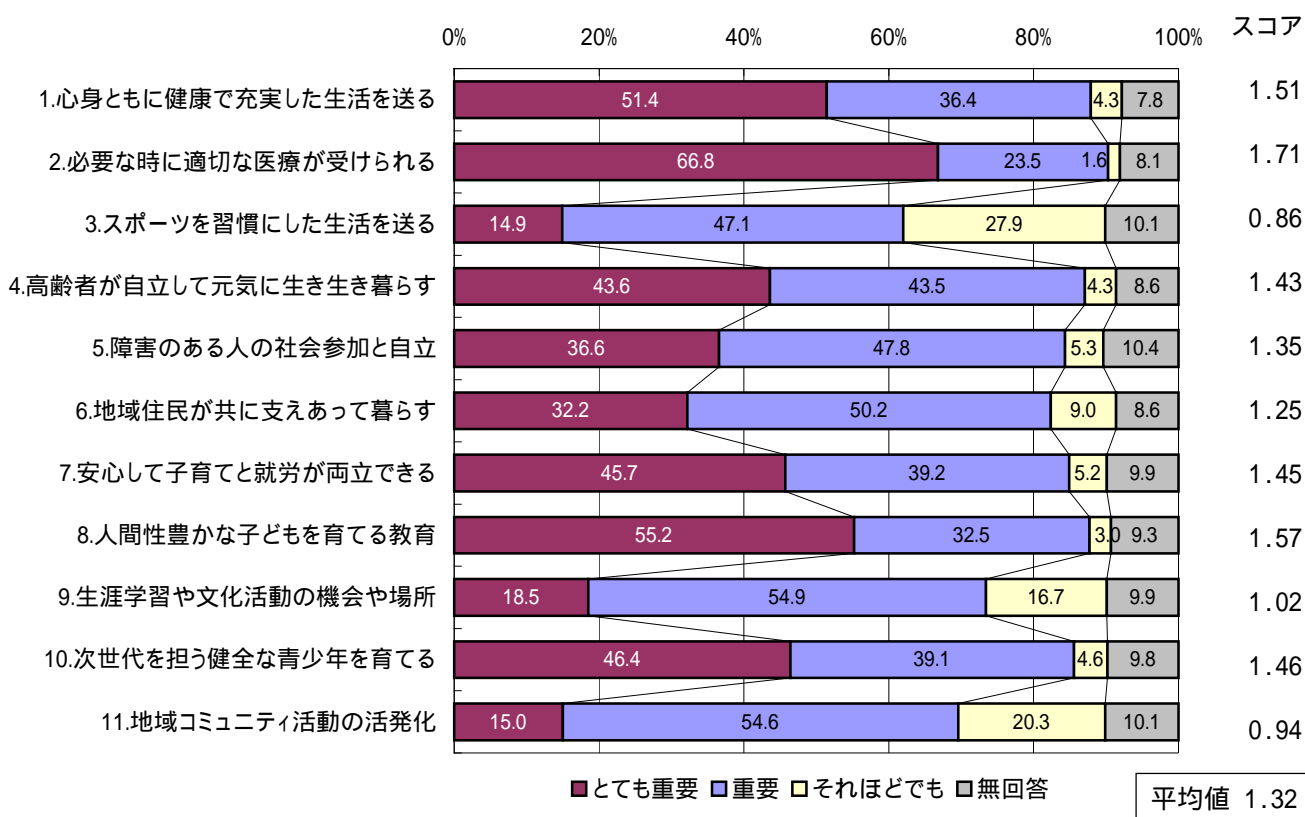


市民主体・行財政の分野では、いずれの施策も満足度は低い傾向にあり、特に「37.市民のための行政サービス」31.4%（やや不満+不満）、「35.市民と行政の協働によるまちづくり」27.1%、「38.健全な財政運営」25.2%となっています。

分野全体の平均スコアは-0.24であり、不満が満足を上回っています。

重要度

1 みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）対象数 = 1,252

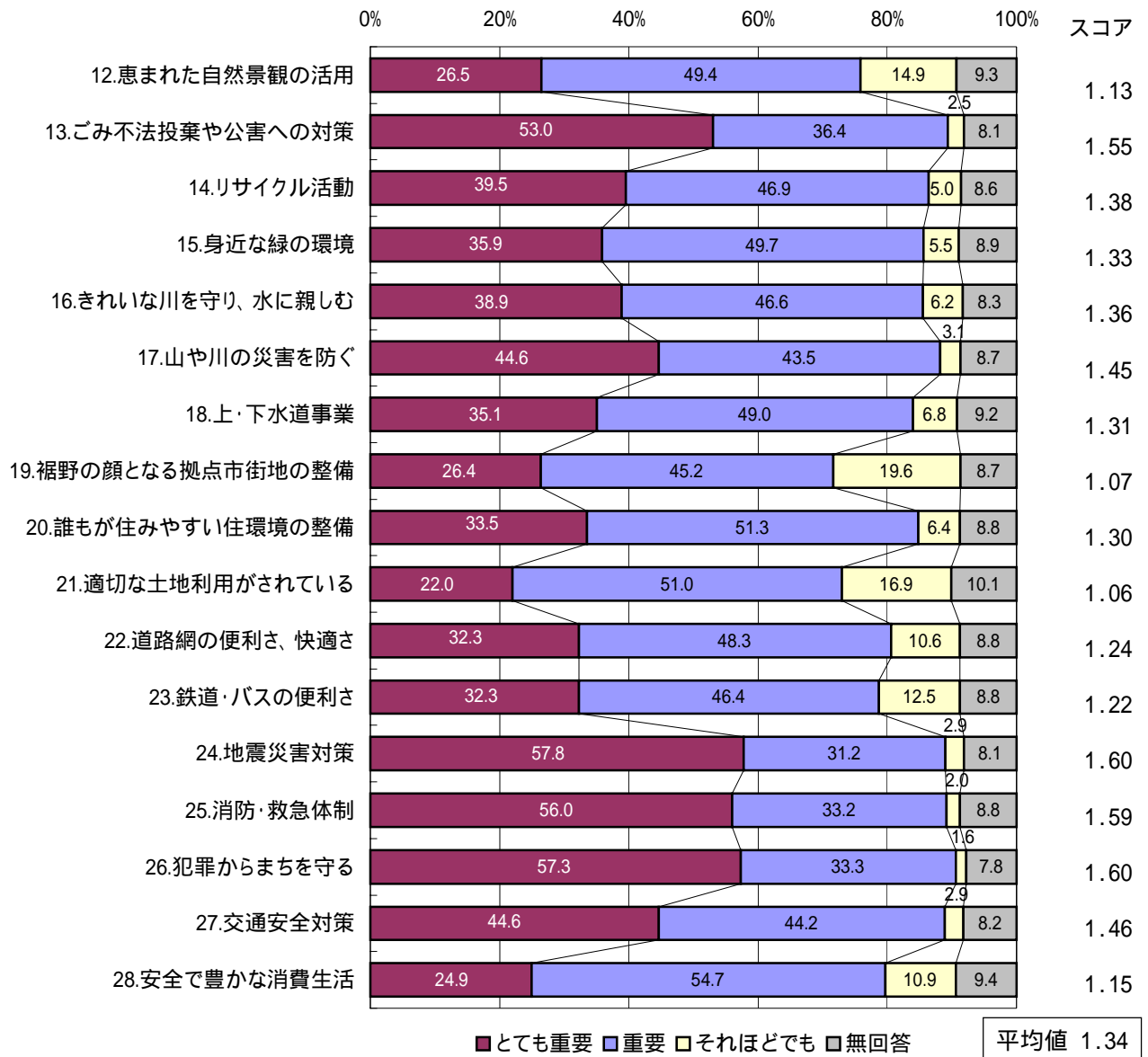


スコア：「とても重要」=2、「重要」=1、「それほどでも」=0 とし、回答人数に掛け、回答総数（無回答数を除く）で除したもの。

健康・福祉・教育分野では、重要度の高い施策として、「2.必要な時に適切な医療が受けられる」66.8%（とても重要）、「8.人間性豊かな子どもを育てる教育」55.2%、「1.心身ともに健康で充実した生活を送る」51.4%があげられており、半数以上の方が「とても重要」と回答しています。

一方、重要度が低いと評価された施策としては、「3.スポーツを習慣にした生活を送る」27.9%（それほどでも）、「11.地域コミュニティ活動の活発化」20.3%、「9.生涯学習や文化活動の機会や場所」16.7%があげられています。

分野全体の平均スコアは1.32であり、重要度が高い傾向にあります。



環境分野では、「13. ゴミ不法投棄や公害への対策」53.0%（とても重要）、「17. 山や川の災害を防ぐ」44.6%の重要度が高くなっています。

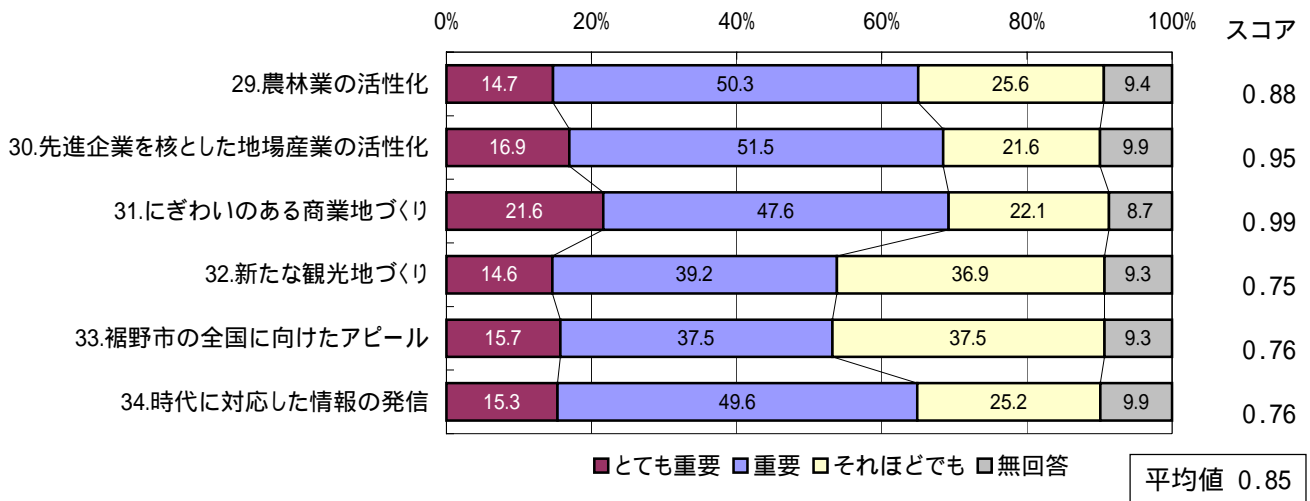
都市基盤分野では、「20. 誰もが住みやすい住環境の整備」33.5%（とても重要）、「22. 道路網の便利さ、快適さ」32.3%、「23. 鉄道・バスの便利さ」32.3%となっており、いずれの施策も重要度が高い傾向にあります。

市民の安全分野では、いずれの施策も重要度が高い傾向にあり、「24. 地震災害対策」57.8%（とても重要）、「26. 犯罪からまちを守る」57.3%、「25. 消防・救急体制」56.0%、「27. 交通安全対策」44.6%となっています。

分野全体の平均スコアは1.34であり、重要度は高い傾向にあります。

3 新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

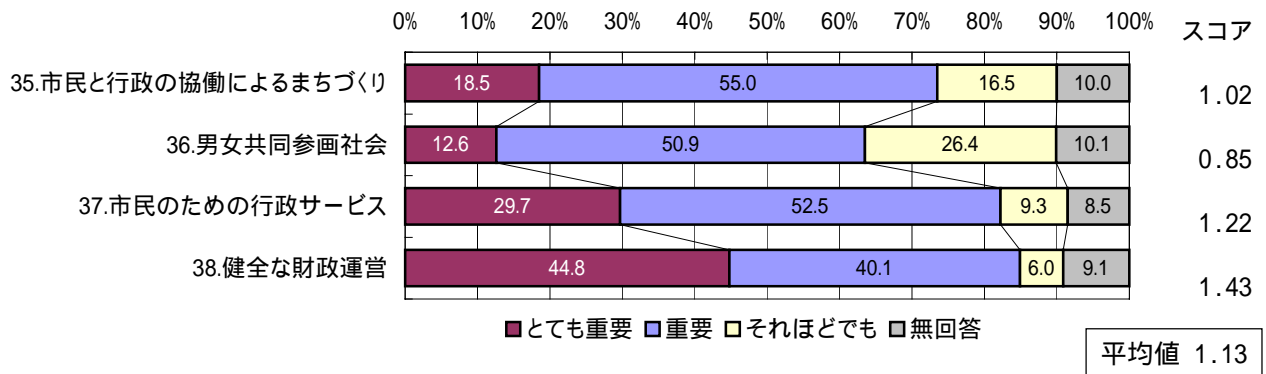
対象数 = 1,252



地域産業分野では、いずれの施策も重要度は低い傾向にあり、「33.裾野市の全国に向けたアピール」37.5%（それほどでも）、「32.新たな観光地づくり」36.9%となっています。分野全体の平均スコアは0.85と1.0を下回っています。

4 頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

対象数 = 1,252

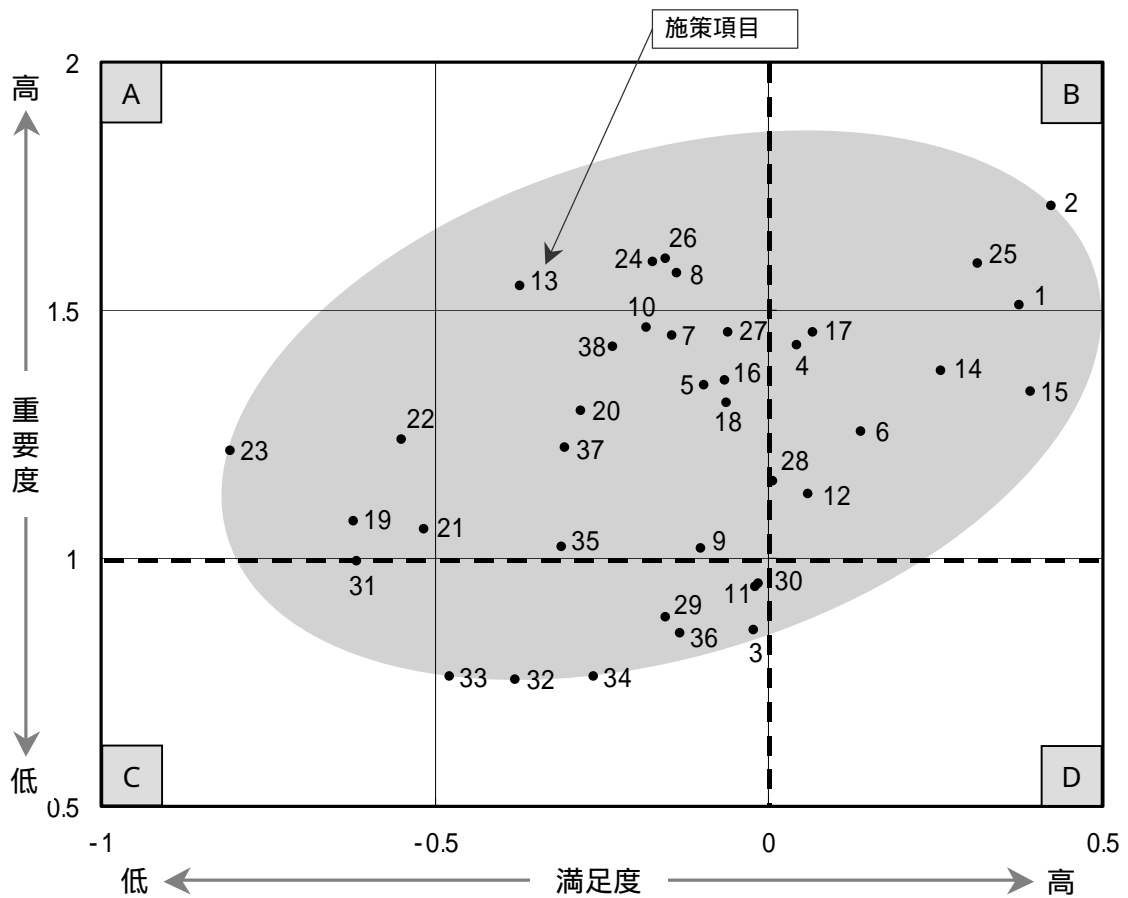
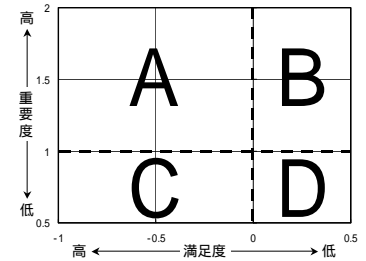


市民主体・行財政分野では、重要度の高い施策として、「38.健全な財政運営」44.8%（とても重要）が最も高く、次いで「37.市民のための行政サービス」29.7%となっています。一方、重要度が低いと評価された施策としては、「36.男女共同参画社会」26.4%（それほどでも）があげられています。分野全体の平均スコアは1.13となっています。

施策の満足度・重要度による分析

問 14 の各施策の満足度と重要度を点数化（前記スコア）し、横軸に満足度、縦軸に重要度をおき、分布状況をマトリクス的に捉え 4 領域に分類すると以下ようになります。

- Aゾーン = 改善・改革していく施策（低満足度×高重要度）
- Bゾーン = 維持・充実していく施策（高満足度×高重要度）
- Cゾーン = 見直し・縮小していく施策（低満足度×低重要度）
- Dゾーン = 維持・縮小していく施策（高満足度×低重要度）

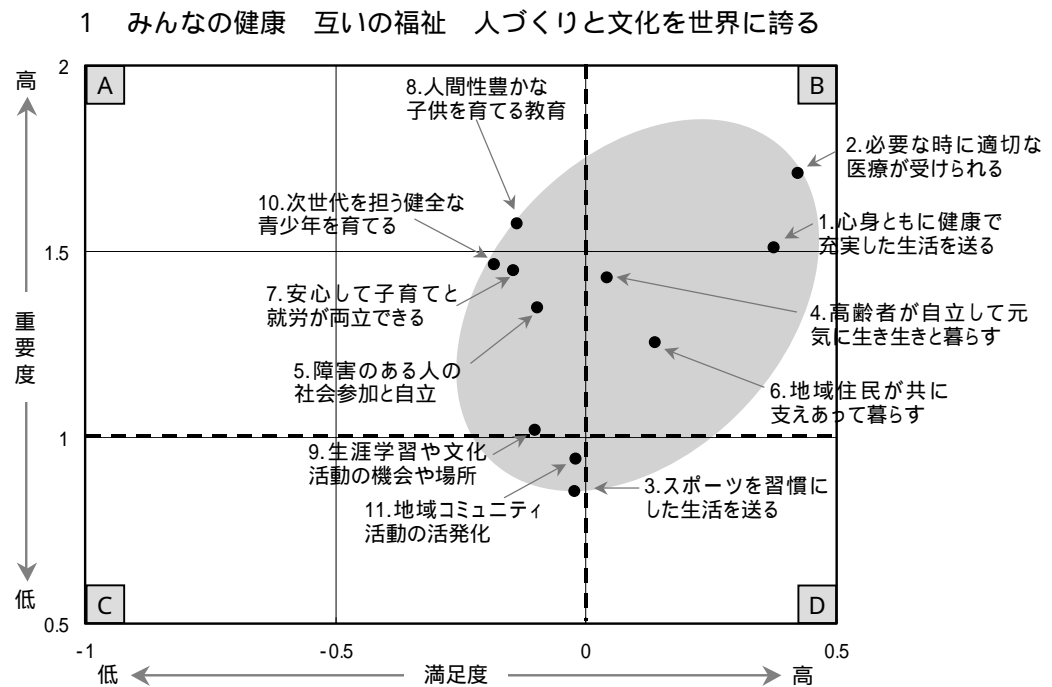


施策項目 の対応は、右頁表を参照

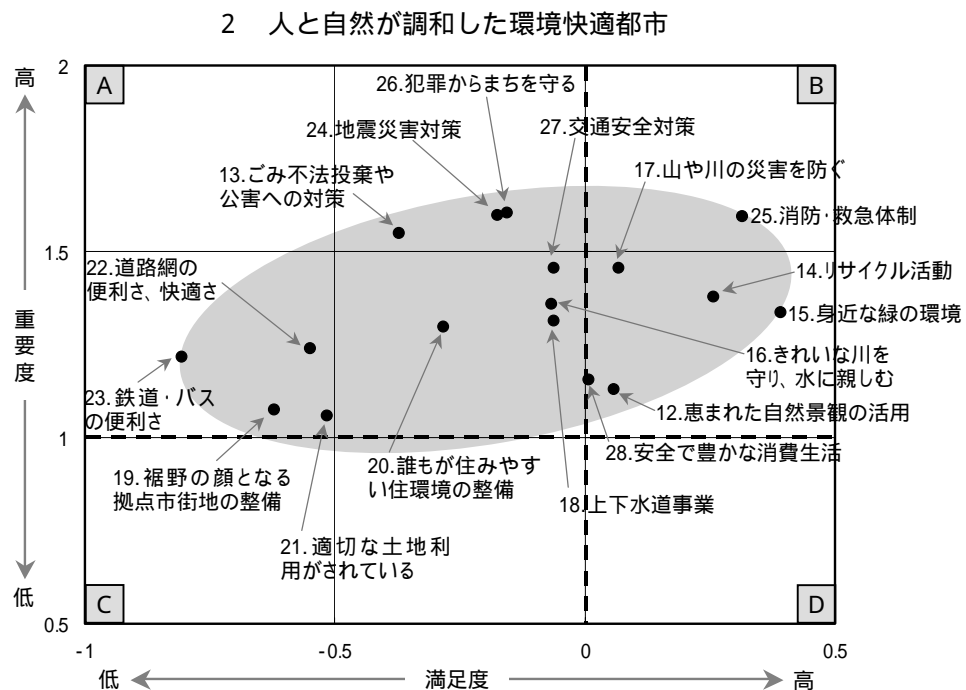
「第3次裾野市総合計画後期計画」における分野別×4領域（ゾーン）別

	A：改善・改革ゾーン 低満足度×高重要度	B：維持・充実ゾーン 高満足度×高重要度	C：見直し・縮小ゾーン 低満足度×低重要度	Dゾーン 高満×低重
1 健康・福祉・教育	5 障害のある人の社会参加と自立 7 安心して子育てと就労が両立できる 8 人間性豊かな子どもを育てる教育 9 生涯学習や文化活動の機会や場所 10 次世代を担う健全な青少年を育てる	1 心身ともに健康で充実した生活を送る 2 必要な時に適切な医療が受けられる 4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす 6 地域住民が共に支えあって暮らす	3 スポーツを習慣にした生活を送る 11 地域コミュニティ活動の活発化	
2 自然・環境・都市基盤・安全	13 ごみ不法投棄や公害への対策 16 きれいな川を守り、水に親しむ 18 上・下水道事業 19 裾野の顔となる拠点市街地の整備 20 誰もが住みやすい住環境の整備 21 適切な土地利用がされている 22 道路網の便利さ、快適さ 23 鉄道・バスの便利さ 24 地震災害対策 26 犯罪からまちを守る 27 交通安全対策	12 恵まれた自然景観の活用 14 リサイクル活動 15 身近な緑の環境 17 山や川の災害を防ぐ 25 消防・救急体制 28 安全で豊かな消費生活		
3 地域産業			29 農林業の活性化 30 先進企業を核とした地場産業の活性化 31 にぎわいのある商業地づくり 32 新たな観光地づくり 33 裾野市の全国に向けたアピール 34 時代に対応した情報の発信	
4 市民主体・行財政	35 市民と行政の協働によるまちづくり 37 市民のための行政サービス 38 健全な財政運営		36 男女共同参画社会	

問 14 の各施策（38 項目）を「第 3 次裾野市総合計画後期計画」における分野別に整理すると以下ようになります。

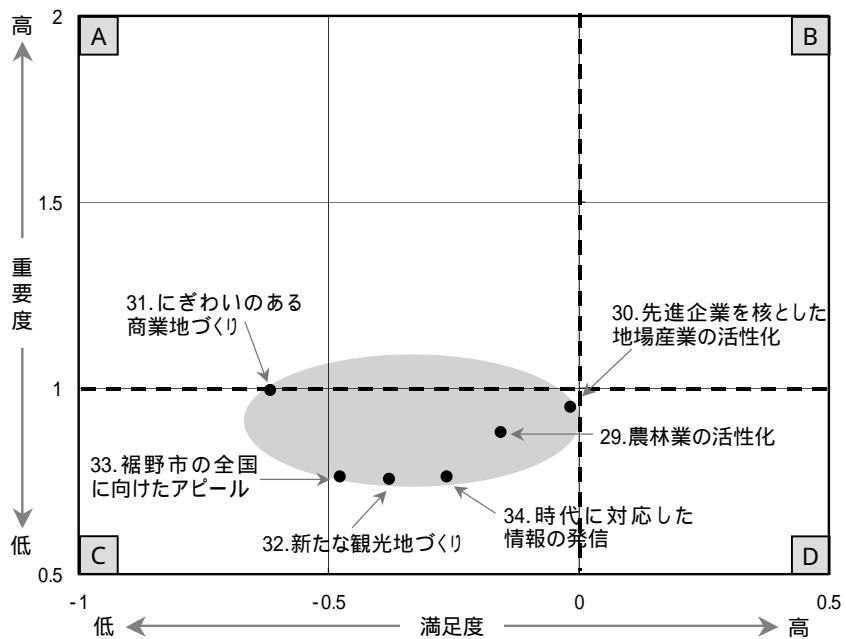


健康・福祉・教育に関する分野は、全施策の中でも比較的満足度・重要度が高い施策が多く、施策の平均スコアは満足度 0.02、重要度 1.32 となっています。



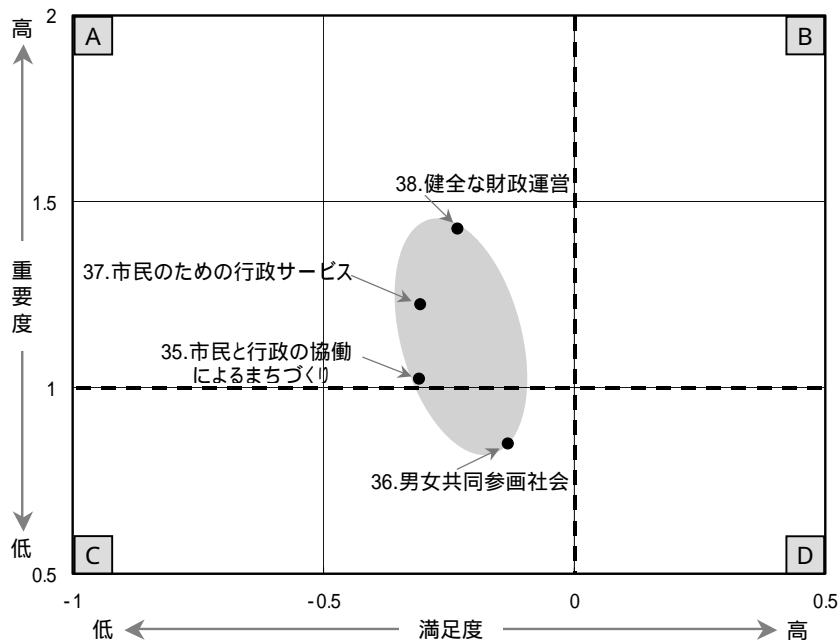
自然・環境・都市基盤・安全に関する分野は、各施策で満足度にばらつきがありますが、重要度が高い施策が多く、施策の平均スコアは満足度 -0.15、重要度 1.34 となっています。

3 新世紀を支える地域産業のパワーアップ



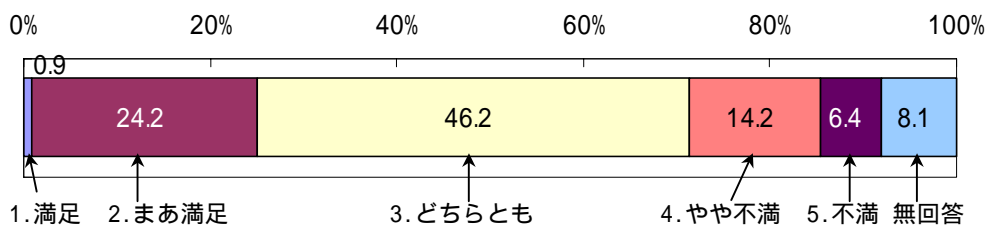
地域産業に関する分野は、全ての施策が見直し・縮小していく必要があるCゾーンに分布しており、施策の平均スコアは満足度-0.32、重要度0.85となっています。

4 頑張る市民・支える市役所



市民主体・行財政に関する分野は、満足度が低い施策が多くA・Cゾーンに分布しており、施策の平均スコアは満足度-0.24、重要度1.13となっています。

問 15 市の政策全体について、どの程度満足していますか？

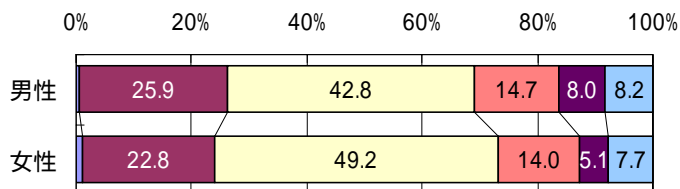


市の政策全体に対する「1.満足」「2.まあ満足」は25.1%となっており、「4.やや不満」「5.不満」の20.6%を上回っています。

前回の市民意識調査（H16）での同設問と比べ、満足度の差はさほどありませんが、「4.やや不満」「5.不満」の比率は5%程低くなっています。

【性別】

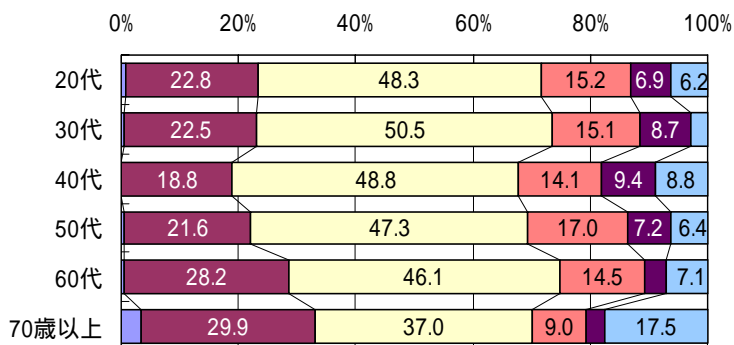
女性は半数近くの人が、「3.どちらとも」と回答しています。



【年齢別】

高齢層（60代、70歳以上）では、約3割が「1.満足」「2.まあ満足」としており、満足度が高い傾向にあります。

一方、30代～50代では、「4.やや不満」「5.不満」が「1.満足」「2.まあ満足」をわずかながら上回っています。



【地区別】

比較的、須山地区と千福が丘では満足度が高く、東地区と企業団地では満足度が低い傾向にあります。

